



図書室だより〈5月〉

町民センター3階

今月のこの1冊

蓮見 恭子 著
櫛を、君に。

「全国高等学校駅伝競走大会」への初出場を目指す福岡県の高校に二人の少女が入学する。

全国中学校駅伝大会でチームを逆転優勝に導いた瑞希と、瑞希の走りに魅せられて自分も同じように走りたいと望んだ歩は陸上部で出会った。二人は先輩や同期と衝突しながらも、速さと強さを身に着けていく。

駅伝を通じ、少女たちの成長と葛藤、絆を描いた一冊である。



みんな集まれ！子どもの広場・おはなし会

◇子どもの広場

内 容 「くるくる水族館」をつくります

日 時 5月14日(土) 10:00～

持ち物 はさみ・カラーペン

対 象 5歳～(未就学児は保護者同伴)

場 所 町民センター2階 小会議室A

申し込みは直接図書室へ または、☎82-5221

毎月1日は、【開成ファミリー読書デー】

家族みんなで本を読もう！

【開室時間】火～金曜日 10:00～20:30
 土・日曜日 10:00～17:00
 祝日29日 10:00～17:00

【休 室 日】毎週月曜日
 ※貸出冊数は4冊まで、期限は2週間です

新しく購入した図書（主なもの）

● 一 般 書 ●

・吹けよ風呼べよ嵐 伊東潤
 ・擬宝珠のある橋 宇江佐真理
 ・誰にも探せない 大崎梢
 ・みんなの怪盗ルパン 小林泰三
 ・まく子 西加奈子
 ・誰がために鐘を鳴らす 山本幸久
 ・海は見えるか 真山仁

● 児 童 書 ●

・ななこ姉ちゃん 宮崎貞夫
 ・ようこそぞなぞしょうがっこうへ 北ふうこ
 ・弓を引く少年 大塚菜生
 ・どうぶつのおばけずかん 斉藤洋
 ・たこやきのたこさぶろう 長谷川義史

◇おはなし会（第3水曜日、第3土曜日）

日 時 5月18日(水) 15:00～

5月21日(土) 10:30～

場 所 町民センター3階図書室

申し込みはいりません

5月1日(日)～12日(木)は毎日がおはなし会です。

●家庭・地域・学校などでの読書活動を推進するため、開成町では毎月1日を「開成ファミリー読書デー」にしています。

*文 芸

開成俳句会

俳 句

四月吟

風光る庭木に登る猫の影
 原色の新入生のランドセル
 石投げて一瞬乱る花筏
 絶筆の絵画展出で風光る
 制服のリボン真つ新辛夷咲く
 風光る大縄跳びに声あげて
 早き瀬に割れてまた寄る花筏
 分校の錆し鉄棒風光る
 春暁やパン焼く匂ひ路地なりし
 風光る足柄平野膨らみぬ

新井たか志 選評

波多野すみ枝

濱本 主雄

有賀 孝子

奥津ちわき

下澤 操子

遠藤シヅ子

遠藤マツエ

遠藤まつ子

遠藤美津子

選者吟

ともしび短歌会

短 歌

三月詠

ころころと屋根にころがる豆の音
 すこやかなれと声もはずみぬ 杉本シズ子
 幼子の握りこぶしの形して
 早蕨摘ひ天に伸びをり 吉田 志麻
 「散り際が美しい」とふ亡母想ひ
 花吹雪浴ぶ校並木に 辻岡 洋子
 作者の亡母は、「上二句」迄のことをよく語っていた。今がその時機といえ、「下の句」の体験を通じ、亡母の思いを感得したという。某哲学者の、日本語で「一番美しいのは、「花吹雪」を想起する。
 近藤 正臣 選

馬の背に背すじ伸ばすや風光る
 “風光るは春の陽に吹く風に煌めきを感じる事をいう。掲句は乗馬の基本的姿勢を保ち馬の性格を読みつ、広い視界の風光る中、葉の花も咲いているであろうか、自然を楽しんでいる作者である。句意は一読して解り、読み手が心地よくなる佳句です。
 瀬戸 悦子



開成町のいまむかし〈2〉

この町に住んで100年目の方も、100日目の方も、皆さんで確かめる開成町の「いま」と「むかし」。このコーナーでは、12回にわたり、文化財保護委員とともに町のいまむかしをたどります。

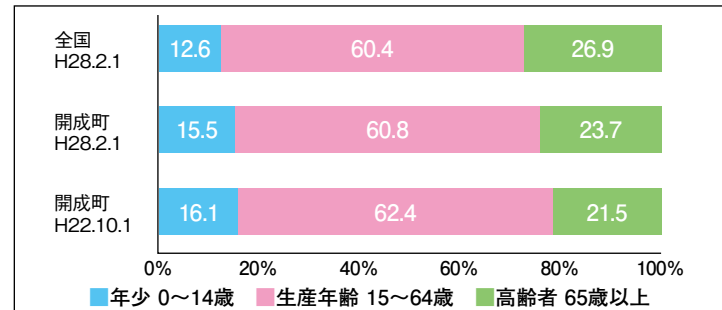
☎ 教育総務課 ☎82-5221

開成町の広さと人口構成

わたしたちの暮らしている開成町は、総面積6・55km²と神奈川県内で最も面積が小さく、南北3・8km・東西1・7km・一周およそ10km。箱根の芦ノ湖（約7km²）より少し小さく、平坦なようで実は北西から南東へ標高差が約37mあります。

平成27年国勢調査速報では、その土地に1万7千21人が住んでいて人口の増加率は4%と県内一でしたが、前回調査の8・2%よりも大幅に少なくなりました。その中で外国籍を持つ方の割合は0・8%から0・6%に減りましたが、国籍内訳をみると前回調査より国籍のかたよりが少なくなりました。また下のグラフでわかるように、現在、全国平均と比較すると開成町の64歳以下人口の割合は大きくなっています。ところが開成町だけでみても前回調査に比べさらに高齢化が進んでいることがわかります。ここ数年、少子高齢化とともに子どもたちの貧困も深刻な問題になっています。年々少なくなっ

年齢三区分別人口の比較



〔平成28年2月概算結果〕（総務省統計局）利用

いる子どもたちが貧困のため希望を持ちにくい社会になれば、国力の減退という負の連鎖は避けられません。子どもたちの健やかな成長こそが未来を担っていきます。子どもたちに温かい眼差しを向け未来に小さな希望をたくさん育んでいくことで、少しずつでも誰もがより生きやすい社会をつくる第一歩となるでしょう。

文化財保護委員会 島村 礼子

生き生き レポート



☎ 開成南小学校 ☎83-2250

みんなで育てたパンジーが卒業式に並んだ

3月23日(水)、開成南小学校で卒業式が行われました。

会場となる体育館に並んだパンジーは、幼・小・中・高連携事業で育ててきたものです。花の苗は、吉田島総合高校から届き、それを小学校の園芸委員会の子どもたちが大切に育ててきました。

きれいな花を咲かせるため、高校の先生と生徒が来て、肥料をあげたり、咲き終わった花の摘み方を教えてくれたりしました。

卒業式前日、いよいよ花を飾る日が来ました。準備には、文命中学校の4人の

生徒が来て、お手伝いしてくれました。中学生は、花の飾り方を一生懸命に考え、素敵なレイアウトにしてくれました。

そして、式で飾ったパンジーは、卒業生に1鉢ずつプレゼントしました。見事に咲いた花たちは、小学校を去る6年生を笑顔でお祝いしているようでした。

ご協力いただいた吉田島総合高校や文命中学校の皆さん、ありがとうございました。

教諭 秋保知香子

